



## カンボジアだより

### ルセイサン小学校支援の最新状況

ニュースレター21号で申し上げたとおり、当基金は、アジア未来学校の修了生が通う隣村の公立ルセイサン小学校の支援を決め、当面スポーツ施設作成と幼稚園開設に協力することになりました。その最新状況をご報告します。

#### その1 スポーツ施設設置

このプログラムは、バレーボールコート、砂場、雲梯を作るもので、材料代を当会が負担し、作成作業は学校の先生と生徒が行うことになっております。

材料代の見積りは3月に日本に届き、直ちに承認を連絡しましたが、現地とのメールのやりとりの行き違いで、先方は未承認との認識でいたため、動きが止まっておりました。6月に再度承認要請があり、承認を通知しました。その結果7月10日に材料代236ドルが学校側に渡され、材料の購入が始まりました。前号で5月末完成予定とお伝えしましたが、上記の次第で進捗が遅れ申し訳ございません。

#### その2 幼稚園開設

こちらは、建設費を当会が負担し、その後の運営費はプノンペン市が負担するという考え方で進んでおります。

現在、建物の建設場所、大きさが決まり、見積りが3つの業者から出てきて、これを日本事務局が確認する所まで進んでおります。

この件に関連して、幼稚園開設によってどういう効果があるかを知るための予備調査として、ルセイサン小学校の1年生の現在の留年状況を問い合わせました。その結果、クラス当たり4～5名との答えでした。50名位のクラスですので、1割位ということです。カンボジアでは、留年は1年生が一番多く、2割とか3割という数字も聞いていましたので、思ったより悪くないという感触でした。

ところが、リティさんから「これを鵜呑みにしないように」との注意がありました。理由は、カンボジアの文科省が留年率の目標値を決めており、どの学校もこれに合った数値にするため、学力が伴わない生徒も進学させているからとのことでした。今までにも何度か、カンボジアでは数値は当てにならないという経験をしてきましたが、またまた経験を深めたしだいです。(大澤)

～目	次～
カンボジアだより	
ルセイサン小学校支援の最新状況	1
日韓交流イベント	
「ビビンの会」報告	2
スタッフ紹介	3
総会開催のお知らせ	4
事務連絡	4

## 「第1回ビビンの会~ともだち作ろう~」の報告

梅雨入り間近の6月9日、「第1回ビビンの会~ともだち作ろう~」を、アジア文化会館の教室で開催しました。「ビビンの会」は日韓交流の促進を旨とし、日韓アジア基金の新しい活動としてはじめてのものです。副題が「ともだち作ろう」となっているように、国籍や年齢、職業などに関係なく、たがいに友だちになることによって、おたがいの国や文化を尊重し、信頼関係を築きたいという願いがこの会には込められています。「友だちに国境は存在しない」というのがビビンの会の原点であり、また目指すところでもあります。

「ビビン」という名前の由来は、新大久保の韓国料理屋で会の名前を話し合っているときに、スタッフの一人が食べていたのが驚くほど辛い「ビビン冷麺」だったところにあります。「ビビン」という音の響きが面白かったので、半ば冗談で思いついたのがはじまりでした。その後、韓国語に詳しいスタッフから、「ビビン（正しい発音はビビム）」というのは韓国語で「混ぜる」という意味だと教わり、国籍に関係なく参加者全員が混ざることによって友だちを作りたいという会の趣旨にも沿うものであるとして、この名前に決まりました。



### 好きな言葉紹介

第1回のビビンの会には、9名の韓国人と5名の日本人のお客さまが来てくださいました。これにスタッフ8名が加わり22名の会となりました。主な内容として「大事なモノ紹介」と「好きな言葉紹介」を行いました。大事なモノ紹介では、参加者全員に何か特別なモノ、思い出のあるモノを持ってきてもらい、自己紹介と合わせてその大事なモノについて語っていただきました。紹介されたモノは、大好きなサッカーの雑誌、日本での失敗談を綴ったノート、人生のバイブルにもなっているコミックなどさまざま。中には大事なモノが家で飼っている魚のため、持ってくることはできませんでしたと言って参加者の笑いを誘う一幕もあり、一人一人の豊かな個性が感じられました。また「好きな言葉紹介」では、日本人の参加者が韓国語の好きな言葉で「무지개(虹)」を、韓国人の参加者が日本

語の好きな言葉で「笑い」を紹介してくれる場面もあり、これは企画者にとっても予想外の嬉しいことでした。

休憩時間には、一人一人が持ち寄ったバラエティに富んだお菓子が机に並びました。ただ参加者の皆様は食べることよりもお話しに夢中になっていたようで、最後にお菓子が大量に余るといって嬉しくも困った出来事もありました。何はともあれ、イベントは終始和やかな雰囲気に入れられ、終了後には参加者の方々がお互いの連絡先を交換している姿が見られ、友達を作るといってイベントの趣旨が伝わったものと大変嬉しく思いました。あの日築いた新たな友情の架け橋が、今後も変わらずいつまでも続くものになることを願い、ビビンの会の発展に向けてスタッフ一同より一層頑張っていきたいと思っております。(次回は9月23日の年次総会の後に開催します。参加ご希望の方は、同封の「総会・イベント出欠はがき」でご連絡ください。)

(湯田)

## スタッフ紹介

日本女子大学3年 松田 えり子

みなさん、はじめまして。私は今年3月からスタッフになりました。そもそも日韓アジア基金との出会いは、今から5年前になります。当時、私が通っていた中学校に基金の代表である禹さんが講演に来られました。ボランティア部に所属していた私は禹さんのお話を聴き、カンボジアの子どもたちに何かできることはないかと考え、全校生徒に物資を集める呼びかけをしました。



そして実際にスタディーツアーに参加して、集まった文房具や玩具などをアジア未来学校の子どもたちに届けに行きました。ツアーに行く前、カンボジアは治安の悪い、貧しい国だと思っていました。しかし、子どもたちと会って、交流してみるとそんな不安はなくなりました。子どもたちは礼儀正しく、笑顔がとても素敵で授業も本当に真面目に受けていました。貧しいというのは外観だけで、かれらは非常に明るく、表情豊かに過ごしていたのが印象的でした。

というわけでツアーを終えてからも、私は引き続きカンボジアを支援していこうと思いましたが、行ったことで満足し安心してしまったのでしょうか。それから活動はめっきり途絶えていました。今回、再び携わろうと思ったのは、大学生活にもようやく慣れ、時間ができたからです。大学で学んでいる社会福祉について考える機会にもなると思いました。

初めて出席した定例ミーティングでは、日韓アジア基金の目指す「日韓協働」を改めて認識させられました。私はというと、「カンボジア」に気持ちが傾いていた気がします。

先日行われた日韓交流イベント・ビビンの会では、韓国のゲストとお互いの大事なもの・好きな言葉などを題材に話し合うことができました。短い時間でしたが、楽しいひとときを過ごせました。もっと通じあえたらと思い、韓国語に対する意欲や相手の歴史・文化への関心がわきました。日本と韓国が協力し合って歴史の壁を乗り越えることも活動の大きなテーマだと実感しました。

どうぞよろしくお願ひします！

## 総会とイベントのお知らせ

9月23日(日)祝日に、平成18年度(平成18年7月～平成19年6月)年次総会を開催いたします。出席と発言はどなたもご自由です。奮ってご参加ください。詳細は同封の開催通知をご覧ください。

なお、総会にひきつづき、2時間半程度のイベントを用意いたしました。このニューズレターの2頁にご報告した「ビビンの会」の第2回でございます。韓国の若い人たちや当会スタッフとの交流が楽しめます。お気軽にご参加ください。

## 事務局長交替のご報告

6月18日付けで、事務局長が細谷恭一郎から渡部友理恵に交替いたしましたのでご報告します。

### 07年4月～6月に会費・ご寄付を下さった方(敬称略・別枠を除き五十音順)

秋元 久美子	加来 明子	柴田 義之	健石 睦子	並木 陽子	松田 明美	四方田 千尋
荒川 雄彦	金子 十三松	下村 紀雄	田中 則子	藤井 幸子	松本 博一	渡部 友理恵
植原 光子	唐澤 一登	神保 国男	田村 敏彦	藤井 猛史	峯村 公雄	
内尾 亜津子	黒巢 香	曾根 文子	塚本 美和子	藤井 信子	柳田 文子	
大澤 龍	合田 稔	高木 修	中村 節子	藤井 昌子	山崎 杜子	
小原 勝子	桜井 靖子	瀧口 利章	中村 輝実	松井 ふみ子	油谷 友加	

イーココロ! 匿名寄付

### ご入会・ご寄付のお願い

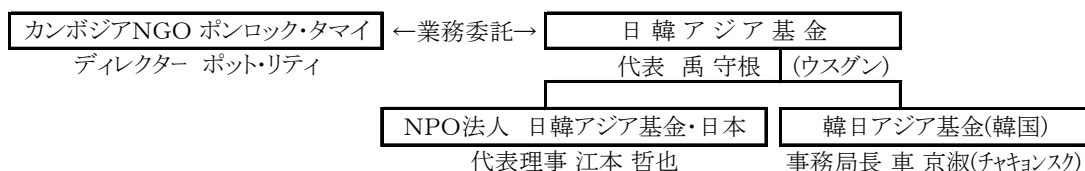
活動会員:年会費 5,000円(学生、未成年者 2,000円)  
賛助会員:年会費1口5,000円(学生、未成年者 1口2,000円)  
法人会員:年会費 1口10万円  
ご寄付:2,000円以上おいくらでも

<郵便局振替口座番号>  
口座番号 00180-2-25153  
口座名義 日韓アジア基金

- ・活動会員:活動に積極的にご参加いただける方。総会での議決権がございます。
- ・賛助会員:定期的にご支援いただける方

ご支援下さった方には「日韓アジア基金ニューズレター」をお届けいたします。  
なお、国内経費は全額スタッフ有志の寄付によっており、外部の方からのご支援は全てカンボジアに送っております。

### 日韓アジア基金の組織



<お問合せ先>

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館(ABK)内  
(専従職員がおりませんので、訪問される時は事前にご連絡下さい。)

Tel:090-4456-2942(庶務・会計担当 大澤) FAX:03-3946-7599(ABK)

E-メール: jkaf@ml.infoseek.co.jp HP: iloveasiafund.com/japan/

発行人: 特定非営利活動法人 日韓アジア基金・日本 代表理事 江本 哲也